【学校通信】

令和3年3月17日

第44号

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西　規之

卒業証書授与式を挙行しました

第４３号につづき、卒業式での送辞を紹介したいと思います。これは在校生代表として、生徒会長が出席し､卒業生に対して立派に読み上げたものです。その読み上げる立派さと素晴らしい内容に涙を流す人もいました。

送　辞

冬の寒さも和らぎ、芽吹き始めた草木に、春の訪れを感じる季節になりました。

３年生の皆様が、明日への希望を胸に、西中学校を卒業されることを、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

私たちが西中学校に入学した２年前の入学式。あのとき聴いた先輩方の歌声は、今も私たちの心の中に響きつづけています。

１年後には先輩方のように……。

追いつけない背中は、いつでも私たちの道しるべでした。

１年生のときの体育大会で見たプロムナード。先輩方の一挙手一投足に目を奪われました。あの複雑な隊形移動を１人ひとりが理解し、完璧に揃うようになるまで、いったいどれほどの努力をしたのでしょう。私たちの先輩はこんなにも人を感動させられる。誇らしさとともに、追いかける背中の遠さを感じました。

青空のように遠い背中に手を伸ばすことで、私たちも成長してきました。部活動では、言葉遣いや礼儀の大切さを一から教えていただき、きょうだい学級を通して、行事の楽しさを知りました。一生懸命に取り組めば先輩のようになれる。そう信じて頑張ることができました。私たちが西中生として誇りを持ち、充実した学校生活を送ることができたのは先輩方のお陰です。

この１年間で世界は大きく変わりました。休校中は、中学生としての当たり前の幸せが、目の前から姿を消したように思いました。

明日の幸せを信じて生きていくことが、とても難しいことのように感じました。

もうこれまでのような学校生活を送ることはできないのではないか。そんな不安と、悲しみばかりが胸に込み上げてきました。

そんな中でも先輩方は、手を抜かず、弱音１つ漏らさず、頼もしい背中を今まで通り、私たちに見せ続けてくれました。

部活動での最後の姿、掛けていただいた言葉は忘れません。

演技交流会では先輩方のダンスを見、文化交流会では合唱を聴き、ともに歌いました。

どんな状況でも、今できることに全力を注ぎ、楽しみ、素晴らしいものを作り上げることができる。一生懸命に取り組めば、幸せな明日は必ず来る。先輩方の姿を見ると、そう信じることができました。

普段の学校生活から、西中生として、誇りと自覚を持って過ごした先輩方の３年間は、私たちに希望を与え、間違いなくこの西中学校をよりよいものにしてきました。これからは私たちが最高学年としてその伝統を繋いでゆく番です。先輩方にいただいた希望を胸に、西中学校をさらに発展させていけるよう、精一杯努力していきます。

これから先輩方はそれぞれ新しい道へと歩んでいかれます。自分を信じ、明日の幸せを信じて、大きく羽ばたかれることを願っています。

今まで本当にありがとうございました。

最後に、今後の皆様のご活躍を心からお祈りし、これを送る言葉とさせていただきます。

ホームページを日々更新中！！